

平成 22 年度飛騨市教育委員会点検評価結果

1, 点検評価の対象 平成 21 年度飛騨市教育委員会の事務の管理及び執行の状況

2, 点検評価会議の期日 平成 22 年 8 月 25 日 (水)

3, 点検評価会議の場所 飛騨市役所西庁舎会議室 1

4, 点検評価会議の出席者

飛騨市教育委員長	泉 正樹
飛騨市教育委員	和仁 憲一郎
飛騨市教育委員	田口 理子
飛騨市教育委員	柚原 一仁
飛騨市教育長	松葉 正
教育委員会事務局長	岩塚 泰男
〃 国体推進室長	沖村 三千一
〃 教育総務課長	面手 裕一
〃 学校教育課長	益田 正己
〃 生涯学習課長	田中 吉久
〃 文化振興室長	佐藤 康雄

5, 点検評価委員

重盛 一哉 (飛騨市社会教育委員長)
栗林 弘夫 (宮川小学校評議員)
溝端 進太郎 (宮川中学校評議員)
下原 宣幸 (飛騨市 P T A 連合会長)
松田 みどり (飛騨市 P T A 連合会母親代表)
向島 昌雄 (飛騨市文化協会長)
水川 政之 (飛騨市体育協会長)

6, 点検評価の方法

21 年度個別事業の管理及び執行状況について、事務局が作成した事業別事務点検評価資料に基づき、教育に関し学識を有する者で構成する点検評価委員に対して説明を行い、その自己評価が妥当であるかについて意見を聴取した。

その後、教育委員会で評価についての最終決定を行った。

7, 点検評価の結果

別添「平成 21 年度 飛騨市教育委員会点検評価資料」のとおり

平成 2 2 年飛驒市教育委員会事務点検評価資料

平成 2 1 年度分事務事業の執行状況

平成 2 1 年度分自己点検評価シート

飛驒市教育委員会

様式第 1 号（第 4 条関係）

教育委員会の活動状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

項 目	実 績	成 果 ・ 課 題	評価
教育委員会会議の活動状況	・開催回数 11回 ・審議件数 議案 46件	・教育関係の案件について、議論を重ね、飛騨市の教育行政や学校経営等について、今後、更なる向上を図られた。	A
協議会の討議状況	・開催回数 9回 ・審議件数 29件 ・教育委員会事務局の人事異動について ・高校入試の結果について ・小中学校の卒業式及び入学式について ・教育委員会後援名義について ・市立学校の学級担任・教科担任について ・異文化体験推進事業について ・教育委員の学校訪問について ほか	・各種の教育関連の協議事項を協議し、今後の飛騨市の教育行政について、よりよい方向づけが図られた。	
教育委員の調査活動状況	・小中学校の卒業式・入学式への列席（平成21年4月及び22年3月） ・小中学校の学校訪問（平成21年10月・11月） ・小中学校の運動会・体育祭訪問（平成21年9月）	・学校行事・学校訪問を実施し、現場での児童生徒や教員等を直接見ることにより学校現場の課題等を把握でき、今後の会議等の参考となった。	
その他の活動	・岐阜県市町村教育委員会定期総会 ・岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会	・研究総会等に参加し、県内の状況や実態を把握することが出来た。	

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
地域発展のための人材定着事業	定住促進事業	育英資金償還者 地元就職補助事業	教育総務課	・ 地元就職された育英資金償還者に対し、年間償還額の2分の1の助成を実施した。 償還者 71名 該当者 16名 総 額 2,553,950円	・ 広報誌や市HPを活用し、貸付時にこの制度をPRしており、就職活動の際に地元就職へ選択の一助となることを期待している。	A

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
安心・安全な教育環境の整備	小学校施設改修事業	古川小学校 ・改築事業	教育総務課	・校舎棟建築工事、体育館棟建築工事、機械設備工事、電気設備工事、施工監理業務委託を発注。 工期は平成23年2月（継続事業）	・工事予定地の地中には埋蔵文化財があるため、施工には配慮が必要であったが、平成21年度の予定事業量（出来高10%）をクリアできた。	A
		古川西小学校 ・校舎耐震補強工事		・国補正事業により、校舎耐震補強工事の設計を完了し、工事発注を行った。（繰越）	・工事が繰越となり、完了予定は平成22年12月予定。	C
		山之村小中学校 ・耐震補強事業		・耐震補強設計委託業務を発注。 ・国補正事業により耐震補強工事も発注した。（繰越）	・耐震補強工事実施設計を完了し、補正予算により工事発注も行った。 ・工事完了は平成22年8月予定。	C

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
安心・安全な教育環境の整備	中学校施設改修事業	古川中学校 ・ 寄宿舎取壊 ・ 倉庫設置等整備工事	教育総務課	・ 老朽化した寄宿舎を解体。 ・ 倉庫棟建築工事を実施。 ・ 屋外トイレ棟建築工事を実施	・ 老朽化した寄宿舎が無くなり、運動場の美観が向上した。 ・ 倉庫及び屋外トイレが完成し、施設の利便性が向上した。	A
		・ 北舎改築工事		・ 設計が完了し、工事に関しても国補正事業により発注を行った。（繰越） RC造2階建 1743㎡予定	・ 予定していた設計業務は完了することが出来た。 ・ 国補正が実施されたことにより、繰越ではあるが工事の発注まで行うことが出来た。	C
		神岡中学校 ・ 北舎改築工事		・ 特別教室棟が竣工した。 鉄骨造2階建て 1592㎡	・ 建築確認の取得に時間を要し、供用開始時期が遅れたが、年度内には竣工した。	B
		・ 南舎耐震補強大規模改造工事		・ 国補正事業により工事を発注した。（繰越）	・ 国補正事業に移行したことにより繰越事業となった。竣工予定はH22年12月。	C

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
安心・安全な教育環境の整備	給食センター建設事業	神岡給食センター ・改築工事	教育総務課	・ 建築工事が竣工した。 ・ 厨房機器購入事業が完了した。 鉄骨造2階建て 931.12㎡	・ 建築確認に時間を要したため、着工時期が大幅に遅れたが、工事業者の協力によりなんとか年度内に工事を終えることが出来た。 運用は、試運転及び職員の熟練期間をとったため、平成22年5月10日からとなった。	B

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
安心・安全な教育環境の整備	学校ICT環境整備事業	小学校 ・地デジテレビ導入 70台 中学校 ・地デジテレビ導入 32台 ・教員用PC導入 18台 公民館 ・地デジテレビ導入 4台	教育総務課	・各小中学校と公民館に地デジテレビを予定どおりの台数を導入することが出来た。 ・中学校に教員用PCを予定通りの台数を導入することが出来た。	・補助事業によりほぼ国費100%で事業を実施することが出来た。	A

事務事業の執行状況

点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
児童生徒に確かな学力をつける指導の充実	児童の力を伸ばす少人数指導の充実	小学校3年生の少人数学級配置事業	学校教育課	<古川小学校3年生> 通常学級児童数 117名 国の基準による学級編制では、1学級あたり40人編制となり、3学級（1学級39人）となる。 ↓ 本事業による学級編制では、1学級あたり35人編制となり、4学級（29、29、29、30人）となり、1学級あたり10人減。	◎1学級あたりの児童数が10～12人減となり、1、2年生時と同じ学級編制で、3年生時も、個に応じた適切な指導を行い、一人一人の子どもを確実に十分に見届けることができた。	A
		義務教育の初期の段階で、基本的な学習習慣や生活習慣等のきめ細かい指導を行う。		<神岡小学校3年生> 通常学級児童数 71名 国の基準による学級編制では、2学級（35、36人）となる。 ↓ 本事業による学級編制では、3学級（23、24、24人）となり、1学級あたり12人減 ・他の小学校3年生は、国の基準による学級編制の結果、1学級あたり35人以下であるため、本事業の摘要はない。 〔H21決算額〕 5, 036千円	これまでのクラス替えは、 ・1回目：2年次から3年次 ・2回目：4年次から5年次 ・6年間で2回行ってきた。（1・2年、3・4年、5・6年は同じ仲間と生活してきた。） ↓ ▲本事業により ・1回目：2年次から3年次 ・2回目：3年次から4年次 ・3回目：4年次から5年次 ・6年間で3回行うこととなる。（4年生では本事業は適用されず国の基準による学級編制となり学級数が1減となるためクラス替えが必要となる。） ▲3年生1学級増により市費負担講師は配置されるが、学級担任となることはできない。	

事務事業の執行状況

点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
充実した教育を支える環境の整備	教職員がやりがいを持って取り組める環境整備の推進	職員一人一台のパソコン環境の整備事業	学校教育課	①11月30日に下記の通り飛騨市内中学校に18台の職員用ノートパソコンを設置した。 ・神岡中学校に11台 ・古川中学校に7台 ②普通教室と職員室で兼用で使用しているノートPC台数も含めると、飛騨市内全職員設置目標185台中185台 (整備率100%) [H21決算額] 0千円 ※学校ICT環境整備事業で対応	◎平成17年度からの整備により、どの学校でも、校長、教頭をはじめ本務職員へ業務パソコンが整備された。 ▲初期に配置したノートPCの老朽化やOSソフトのバージョン問題など、今後順次新しいものに更新する必要がある。	A

事務事業の執行状況

点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
学ぶ楽しさあふれる学校づくり	「生きる智慧」を育む教育活動の充実	特色ある教育経営推進事業交付金	学校教育課	○古川小 影絵劇鑑賞、合鴨農法 等 ○古川西小 劇団民話芸術座観劇、英語教材の充実 ○河合小 ふるさと体験学習 ○宮川小 ものづくり体験、観察体験 等 ○神岡小 電子黒板の活用による外国語活動の充実 ○山之村小中 船津座公演、伝統文芸狐つりの継承並びに山っこ獅子活動 ○古川中 スポーツ講演会、生徒会活動の活性化 等 ○河合中 能と狂言の鑑賞、河合の自然を学ぶ取組、NHK合唱コンクール ○宮川中 乗鞍宿泊研修、ミョウガ栽培活動、ボランティア活動 等 ○神岡中 平和学習講話、キャリア教育講話、職業講話 等 [H21決算額] 小学校 3,160千円 中学校 2,839千円	◎子ども達自身も劇に参加できたことで、表現のし方が身に付き、その子ども達を核にして、集会や授業においてははっきりと最後まで発表できる子が増えた。 ◎親元を離れた宿泊体験により、自分や家族を見つめ直す、新たな自分づくりの機会になっただけでなく、家族への感謝の気持ちをより深めることができた。 ◎地区出身の方だけでなく、神岡町の多く方に感動していただき、自分たちでやり遂げた充実感を味わっただけでなく、地域の伝統文化を引き継いでいく担い手としての誇りと自覚をもつことができた。 ◎プロやその道に秀でた人との出会いで、本物のすばらしさを体感することにより、自分を見つめ、よりよい自らの生き方を考えるきっかけとなった。 ▲それぞれの活動を学校経営方針に位置付け、子どもに身に付いた姿として成果を示し、地域に発信していく必要がある。	A

重点 施策	重点 目標	平成 2 1 年度の目標	担当課	平成 2 1 年度の実績・成果と課題			評価	
				実績		成果・課題		
学 ぶ 楽 し さ あ ふ れ る 学 校 づ く り	特 別 支 援 教 育 を 通 し た 学 級 環 境 の 充 実	児 童 生 徒 支 援 員 の 配 置 及 び 支 援 員 研 修 事 業	学 校 教 育 課	具体的な支援員の配置状況			◎通常学級に在籍している発達障がいのある児童生徒に寄り添い適切な支援や継続的な指導を行うことにより、落ち着いて授業に取り組み、発言したり、分からないことを友達に尋ねたりすることができるようになってきた。 ◎障がいのある児童生徒が落ち着いて学習に取り組むことができることで、学級全体も授業に集中できるようになった。 ▲より効果的な支援ができるために研修会を年間 4 回しているが、実際の支援の仕方を中心にした研修の充実を図る必要がある。	
				配置校名	H20	H21		勤務の様子
				古川小	7	7		6h：4名 5h：1名 4h：2名
				古川西小	7	5		6h：3名 4h：1名 2h：1名
				河合小	1	1		6h：1名
				神岡小	7	7		6h：4名 5h：1名 4h：2名
				古川中	3	3		6h：3名
				宮川中	1	1		3h：1名
				神岡中	2	2		6h：2名
				7校/10校	28	26		
〔H21決算額〕 小学校 17,602千円 中学校 4,440千円								

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
学 ぶ 楽 し さ あ ふ れ る 学 校 づ く り	児 童 生 徒 の 学 ぶ 環 境 づ く り の 推 進	産休・病休等引き継ぎ支援 事業	学 校 教 育 課	①市内小中学校で実施 ＜産休前支援＞ 1名 - 産休に入る担任の学級に一ヶ月前から入り、児童の実態を十分に理解し、実際に担任と共に指導に当たることができた。 ＜病休支援＞ 4名 - 病気休暇を取る1年生の担任の学級に一ヶ月前から入り、児童の実態を把握したり、情報を引き継いだりした。 - 急遽病気休暇を取ることとなった6年生の担任に代わって学級へ入り、県費負担職員が決定するまで、児童の指導にあたった。 など ＜その他＞ 1名 - 事務職員が無配置だった学校に県費負担臨時職員の配置が決定し、勤務開始日までの期間にそれまで事務を担当していた教頭と引き継ぎ作業を行った。 [H21決算額] 208,800円 小学校費 206,400円 中学校費 2,400円	◎産前休暇を取得する担任の学級へ、1ヵ月前から支援に入ることで、児童の様子を観察したり指導支援を行ったりする中で、児童の実態やそれまで担任が行ってきた指導を理解することができ、スムーズに引継ぎができ産休後の代替担任としての指導に生かすことができた。 ◎病気休暇を取得する状況になったときに、本事業で配置できたことにより、担任が休暇取得後、代替担任としての指導に生かすことができた。	A

事務事業の執行状況

点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
豊かな心の育成	異文化体験推進事業	中学生海外派遣事業	学校教育課	※新型インフルエンザの流行により事業中止	※新型インフルエンザの流行により事業中止	— 参考 H19 H20 評価は、ともに A
		海外の文化に触れることで、ふるさとの良さを再認識し、ふるさと自慢ができる子どもを育てる。		平成21年度参考資料 〔実施予定時期〕 平成21年11月中旬～下旬 〔研修予定場所〕 カナダ国チリワック市 ハイロードアカデミー校 〔予定参加者数〕 研修者（中2生徒） 20名 引率者（教員） 2名 引率者（市職員） 1名 〔平成21年度予算額〕 研修委託料等 6,700円 〔平成21年度決算額〕 研修委託料等 0円	平成22年度参考資料 〔実施予定時期〕 平成22年11月中旬～下旬 〔研修予定場所〕 カナダ国チリワック市 ハイロードアカデミー校 〔予定参加者数〕 研修者（中1～3生徒） 30名 引率者（教員） 2名 引率者（市職員） 1名 〔平成22年度予算額〕 研修委託料等 8,400円	

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
生涯学習の推進	飛騨市生涯学習活動の推進	地域づくり型生涯学習 市民の「教えたい」という気持ちを具現化するため、市民提案型の公民館講座を実施する。 また、公民館講座チラシに「各種団体・サークル紹介」を掲載し、飛騨市内の生涯学習活動を紹介する。名人登録を行い、情報提供を行う。	生涯学習課	前期講座 企画26講座 実施19講座 後期講座 企画13講座 実施 8講座 年末講座 企画 2講座(市教委企画) 実施 2講座 21年度 29講座の実施 延べ1,500名の参加 講座例：ヨガ講座、カラオケ講座、英会話講座、歴史講座など 各種団体・サークル紹介 前期49団体、後期41団体の紹介 名人の登録	○成果 ・市民のもっている知識や技能を広め、活躍する場を提供できた。 ・趣味や教養を身につけるための生涯学習の場を提供できた。 ・各種団体・サークル紹介により、活動をPRすることができた。 ○課題 ・誰でも講師になれるため、講座の質が保証できない。 ・講師の提案により講座を提供するため、地区によって講座の企画数にばらつきが生じる。	A

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
生涯学習の推進	市民参加による生涯学習の推進	生涯学習推進会議 生涯学習関係団体と連携しながら生涯学習施策を推進するため、願いの共有と活動の共通理解を図る。	生涯学習課	◇運営委員会（3回） ◇部会（3回程度、研修会の開催） ＜子育てネットワーク部会＞ ・専門家による研修会他 ＜青少年健全育成・地域ぐるみの道徳部会＞ ・小中学校授業参観他 ＜文化・芸術振興部会＞ ・アンケートによる例祭の現状や継承方法の把握他 ＜生涯スポーツ振興部会＞ ・ぎふ清流国体の啓発他 ◇生涯学習推進大会 第1部 各部会の実践発表（4部会） 第2部 人権講演会 「すべてのものに心を込めて」 講師 増岡 弘 氏	◎家庭・職域・年齢等、立場の違いを越えて意見交換を行い、関係諸団体で願いを共有したり活動の共通理解を図ったりすることができた。 ◎部会での交流によって飛騨市の現状を浮き彫りにし、積極的に啓発していく活動が展開されるようになった。 ▲各部会単位内では、情報交換や共通理解を得ることができたが、部会間での連携が弱い。	B

様式第 2 号（第 4 条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成 2 1 年度の目標	担当課	平成 2 1 年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
家庭教育の推進	「学ぶ、ふれあう、交流する」家庭の教育力向上	ふるさと創作絵本「第 3 集」を作成し各機関に寄贈配布、販売する。	生涯学習課	・ふるさと創作絵本作成実行委員会（委員 12 名）において第 3 集を作成した。 ・ 52 ページ、5 話集録、500 冊作成 ・ 実行委員会 2 回（6/3 3/26） ・ 編集会議 6 回（6/3.17 7/29 9/7 10/21 11/13） ・ 校正会議 3 回（12/11.1/13・27） ・ 手作り絵本講習会 2 回（神岡会場：3/14 古川会場：3/21） ・ 各機関へ寄贈配布 300 冊 ・ 販売開始 200 冊 ・ 経費内訳 委託料：1,041 千円	成果 ・ 市内の保育園、小中学校、高校、図書館、子育て支援センター、福祉施設等に配布し、読み聞かせや貸し出しを行っている。 ・ 第 3 集及び第 1・2 集ともに販売を行っている。 課題 ・ 寄贈配布後の積極的な活用方法を検討する。 ・ 積極的な販売促進を行う。	B

事務事業の執行状況

点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
家庭教育の推進	「学ぶ、ふれあう、交流する」家庭の教育力向上	家庭教育学級 家庭が本来果たすべき役割を改めて見つめ直す機会となるよう小中学生の保護者が子どもの発達段階に応じて家庭教育の意義と役割を保護者自身が学習したり親子でふれ合ったりできる場を提供する。	生涯学習課	飛騨市内の小中学校10校が、すべてPTAを主体としながら、自主的に家庭教育学級を実施することができた。 <講演会> ・食育（栄養教諭） ・進路（飛騨春慶塗師・先輩・高校教諭） ・中学生の心（教育相談員） ・福祉（手話通訳士・視覚障がい者） ・性（保健所職員） ・ネット犯罪 ・江戸しぐさ（NPO法人） ・芸術鑑賞（音楽・影絵） ・地域の未来と夢 <親子活動> ・環境整備作業・木工工作 ・星空観察・草木染め ・伝統芸能（踊り） ・スポーツ大会・キャンプ ・ゼンマイ採り・調理 ・絵手紙・リサイクル工作	成果 ・各校に家庭教育学級担当職員、各PTAに家庭教育学級担当を位置づけていただき、計画的・継続的な活動が展開された。 ・計画段階から支援したり、計画書と報告書の提出を義務づけたりすることで各校とも活動内容が充実した。 課題 ・金銭的な問題から、希望する講師を招くことができないことがある	A

様式第 2 号（第 4 条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成 2 1 年度の目標	担当課	平成 2 1 年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
青少年教育の推進	まちぐるみで取り組む青少年健全育成	・ 高校生という多感な時期に海外研修を実体験させることにより、飛騨市に関わる若者の教育と人材育成を進める。 ・ 市外の高校に通う市内在住の生徒にも募集を行う。	生涯学習課	新型インフルエンザ流行による事業の中止	成果 市外の高校に通う市内在住の生徒にも募集を行った。	—

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
青少年教育の推進	まちぐるみで取り組む青少年健全育成	市内の関係機関・団体との連携を密にし、青少年の健全な育成を図る。	生涯学習課	・6/20 少年の主張大会 会 場：河合町友雪館 出場者：小中学生各8名 ・地域のおじさん、おばさん運動加入促進運動 新規加入者：136名 ・啓発活動「広報ひだ」 7月号：青少年の非行問題に取り組む 全国強調月間 11月号：全国青少年健全育成強調月間 1月号：家庭の日普及実践強調月間 ・県民大会等参加：11月、1月 ・生涯学習推進会議（青少年健全育成・地域ぐるみの道德教育部会）との連携部会：3回 地域ぐるみの道德教育公表会への参加：4校	成果 各種団体が青少年の健全育成に向け、共通認識を持つことができ、連携を深めることができた。 課題 青少年の健全育成に向け、家庭・学校・地域が共通認識を持ち、お互いに手を取りあい一体となって取り組むことの重要性や必然性を徐々にではあるが再認識できつつある。今後も継続して行う。	B

重点 施策	重点 目標	平成 2 1 年度の目標	担当課	平成 2 1 年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
青少年教育の推進	まちぐるみで取り組む青少年健全育成	青少年の健全育成は、家庭・学校・地域の連携強化により、一体となって取り組むということで、三者がそれぞれ活動するのではなく、お互いに手を取り合い活動する。	生涯学習課	組織：飛騨市青少年育成推進連絡協があり、その中に各町の 4 部会ある ○青連協 会議：1 回(8/7) ○古川部会 ・会議：5 回(4/22. 5/14・25. 8/25. 10/14) ・ふれあい集会：全体会議(6/4) 地区会議 19 カ所 (6/27～8/8) ・地域ぐるみの道德教育公表会： (10/25 古川中学校) ○河合部会 ・会議：3 回(5/12. 6/18. 9/25) ・第 1 回心の教育を語る会：(8/4) ・地域ぐるみの道德教育公表会(第 2 回心の教育を語る会)：(10/10 河合小学校) ○宮川部会 ・会議：3 回(5/12. 6/12. 10/9) ・第 1 回心のひろば：(7/16) ・地域ぐるみの道德教育公表会(第 2 回心のひろば)：(10/17 宮川中学校) ○神岡部会 ・会議：2 回(6/9. 9/18) ・街頭指導(補導員・警察署合同)：(8/5・20) ・地域ぐるみの道德教育公表会： (10/3 山之村小中学校) ・街頭パトロール：(10/31) ○実施結果報告発行 ・ふれあい集会・第 1 回心の教育を語る会・第 1 回心のひろば・地域ぐるみの道德教育公表会	成果 各種団体が青少年の健全育成に向け、共通認識を持つことができ、連携を深めることができた。 課題 青少年の健全育成に向け、家庭・学校・地域が共通認識を持ち、お互いに手を取りあい一体となって取り組むことの重要性や必然性を徐々にではあるが再認識できつつある。今後も継続して行う。	B

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化芸術の推進	地域文化の保存と伝承	飛騨市文化協会補助事業	生涯学習課	事業 ・飛騨の新緑と滝を撮る ・フォトグラファが見た新潟県中越地震（清水重蔵氏講演） ・飛騨市短歌大会 ・飛騨市俳句大会 ・日展視察 ・文化の薫り展 ・飛騨市芸能祭 ・各支部事業 補助金 3, 149 千円	【成果】 ・組織を一本化して2年目になり、組織検討委員会を立ち上げ、組織の在り方を検討した。 【課題】 ・会員の高齢化及び減少による今後の運営体制の検討 ・本部と各支部の連携強化 ・市内サークルの連携強化	B
		飛騨市の目標である「文化が薫る活力とやすらぎのまち」を実現するために文化協会が果たす役割は多大なものがあるため、市民主体の文化活動を補助し組織を強化する。				

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化芸術の推進	地域文化の保存と継承	飛騨市美術展開催補助金 新しい芸術文化の創造を促すと共に地域文化の振興に寄与し、感動豊かで優れた作品を広く募集し、一般に公開する。	生涯学習課	- 応募総数 181点（日本画10点、洋画47点、写真50点、書45点、工芸17点、彫刻4点、グラフィックデザイン8点） - 飛騨市美美術館で10月10日～12日の3日間展示を行った。 - 展示期間来場者数 753名 - 出品料を1点につき1,000円徴収し、運営した。 補助金 843千円	（成果） - 市民の作品の発表の場として年々作品が充実してきている 5回目までは1部門1人の審査だったものを、6回目より審査員を1部門2人の審査員を依頼することで、より公平な審査を実施した。 （課題） - 市展の運営上、美術館との関わりは重要なため、美術館運営協議会を含めた運営や体制のあり方の検討が必要。	B

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
生涯学習の推進	市民参加による生涯学習の推進	高齢者学級 高齢者を対象に、ふれ合いや学ぶ喜びを大切に、ふさわしい社会的能力を高める場として開催する。	生涯学習課	飛騨市4町において高齢者学級を開設している。 《神岡町》 月1回 年8回 募集制 講演会・映画鑑賞・健康体操 バスに乗車して地域研修 《河合町》 年2回(要望に応じて4地区それぞれで1回程度) 老人クラブ会員。 講演会・映画鑑賞・健康体操 《宮川町》 年2回 老人クラブ会員。 講演会・映画鑑賞・健康体操 《古川町》 月2～4回 募集制 園芸・ダンス・郷土史・手芸・囲碁の5教室	成果 ・高齢者が集う・学ぶ・交流する場として定着し、参加者にも好評である。 ・振り込め詐欺・悪徳商法の対処法、交通安全講座、防災講座など社会の変化に応じた学びを提供することができた。 課題 ・活動形態が4町で異なるため、回数等の統一が困難。	B

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
家庭教育の推進	「学ぶ、ふれあう、交流する」家庭の教育力向上	『親子はり絵教室の開催』 【目的】 飛騨市における文化・芸術の振興と交流を推進するため、芸術機会の提供（親子のふれあい・プロによる指導）を行い、町の将来像「文化が薫る活力とやすらぎの町」の達成に寄与する。	生涯学習課	『親子はり絵教室』 期 日 平成21年8月4日（火） ～8月6日（木） 19:00～21:00 会 場 神岡町公民館 講 師 井上 あき子 内 容 親子によるはり絵教室 参加者 親子16組 （子ども22名、保護者16名）	◎小学生とその保護者を対象に行った。 色紙を使い、最初は野菜をモデルに はり絵を作製、その後自分の好きなキャラクター等を題材に取り組んだ。 芸術をとおして、親子の交流が図られた。 ▲大人からの参加要望も多く、今後大人を対象とした教室も企画できるとよい。	B

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
家庭 教育の 推進	「学ぶ、 ふれあ う、交 流する」 家庭の 教育力 向上	『親子絵画教室の開催』 【目的】 飛騨市における文化・ 芸術の振興と交流を推 進するため、芸術機会 の提供（親子のふれあ い・プロによる指導） を行い、町の将来像「文 化が薫る活力とやすら ぎの町」の達成に寄与 する。	生涯 学習課	『親子絵画教室』 期 日 平成21年10月18日（日） 9:00～15:00 会 場 香愛ローズガーデン、 いなか工芸館 講 師 松元 慶子、宮原 一美 内 容 午前 スケッチ （香愛ローズガーデン） 午後 和紙漉き体験 和紙に絵を描こう （いなか工芸館） 参加者 親子4組 （子ども7名、保護者4名）	◎小学生とその保護者を対象に行った。 午前中は、屋外でのスケッチ、午後か らは、いなか工芸館で和紙漉体験を行 い、その和紙を使って絵を描いた。 芸術をとおして親子の交流が図られ た。 また、地域の伝統文化に触れることが できた。 ▲参加者が少ない、また開催地の方で 偏ってしまうので、広くPRする。	B

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
芸術文化の 保存・伝承	地域文化の 保存・伝承	『飛騨市民音楽祭』の開催 【目的】 飛騨市内の音楽団体が一堂に会し、共に飛騨市の音楽活動の活性化と地域間交流を図り、地域の文化に対する意識の高揚を図る。	生涯学習課	【第4回 飛騨市民音楽祭】 期 日 平成21年10月4日（日） 場 所 飛騨市文化交流センター スピリットガーデンホール 出演数 18 団体出演 （内 2 団体欠場） 内 容 第 1 部 合唱 第 2 部 器楽・バンド 第 3 部 吹奏楽	◎前年度より出演団体が増えた。 特に器楽・バンドの団体が増えている。 若者の音楽祭への出場により、音楽をとおして、地域間だけではなく、さまざまな年代の方との交流も図られた。 ◎音楽祭の開催により、団体の音楽活動推進を図れた。 ▲古川町・神岡町からの出演団体が、ほとんどであり、河合町・宮川町からの参加がないため、案内等を送り、呼びかけを行う。 ▲団体として独立するにはしばらく支援が必要である。	B

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
青少年教育の推進	まちぐるみで取り組む青少年健全育成	『飛騨市子ども会の育成』 【目的】 子ども会の組織の発展ならびにその活動の促進充実を通じて、児童生徒の健全育成を図ることを目的とする。	生涯学習課	○飛騨市内子ども会員数 古川町 1,431名 河合町 102名 宮川町 83名 神岡町 620名 ○各町の行事 古川町：小学校高学年から中学生を対象に、2回交流会を開催 河合町：子ども会員を対象に、8月に交流会（ふれあい広場）を開催 宮川町：子ども会員を対象に、11月に交流会（ふれあい広場）を開催 神岡町：子ども会員を対象に、球技大会と3月にあそびの広場を開催 ○市子ども会の活動 9月に交流会を開催した。毎年市内4町のうち1町を会場として行っている。 また7月には指導者研修会を行い、各地区の事業紹介や講演を行う。	◎各町の育成会を中心に、1～2回、小中学生を対象に、リーダー養成を目的とした行事を行った。 ▲少子化により、子ども会の数が減ってきているため、子ども会の合併を進める。 ▲本来子どもを中心にして行われる会であるにも関わらず、大人を中心に行事等を行っている。総会等で、子ども会運営について理解していただくと共に、本来の子ども会活動へ繋げる。	B

様式第 2 号（第 4 条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成 2 1 年度の目標	担当課	平成 2 1 年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
心身の健康と体力づくりの推進	誰もが親しめるスポーツ教室	体育指導委員会 スポーツ活動指導者の発掘・養成に努めるとともに、資質の向上を図る。	生涯学習課	3 4 名 古川 1 1 名 河合 7 名 宮川 7 名 神岡 9 名 ・市体指代表者会議 各地区から 2 名 隔月開催 ・各地区でスポーツ教室等開催 ・スポーツ指導の派遣 ・モーニングストレッチに替わる新しい体操の開発 ・地区体指研修会参加（飛騨市） ・東四体指研究大会参加（下呂市）	〈成果〉 ◎隔月に代表者会議を開催し、各地区の情報交換を行うことができた。 〈課題〉 ◎各地区での事業が多く、市体指が全員で行う事業が少ない。 ◎企画事業に新鮮味が無い →市民のニーズや要求に応えた新規事業の開発が必要	B

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
心身の健康と体力づくりの推進	スポーツイベントの実施	○山の村だいこんマラソン	生涯学習課	と き 9月20日 ところ 山之村牧場 (4コース15部門) 参加者 844名(過去最高)	【成果】 ・市内外の参加者が一堂に会し、マラソンを通して山村と都市の人々の交流が図れた。 ・特産品である大根やほうれん草を参加賞とすることで、山之村地区のPRとなった。 ・第11回大会から山之村牧場で開催し、牧場のPRができた。	A
		標高1,000mの山之村高原を舞台とし、雄大な自然の中でマラソンを楽しむ機会を提供する。		当日は参加者の他にその家族や大会関係者など約1,100名が集った。牧場や地元の方によるバザー、山之村小中学校による催しなどで大会を盛り上げた。	【課題】 ・さらなる山の村地区及び牧場のPR	

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
心身の健康と体力づくりの推進	スポーツを通じた住民相互の交流・世代間建立	河合剣道錬成会開催	生涯学習課	◇飛騨かわい剣友会 主催 ◇「輝け 飛騨少年剣士」 剣道錬成会 10/17 会場：飛騨市河合町稲越 友雪館 内容：有段者と少年たちとの錬成会 剣道大会 ・スポーツ少年団の部 ・中学生の部 参加：市スポーツ少年団 （古川 17名、河合 12名、 神岡 12名） 市内中学校剣道部 （古川 8名、河合 6名、 神岡 8名） 大会関係者27名	◎河合町出身である松葉先生（教士八段）下島先生（教士八段）をはじめ、10名の有段者から指導を受け技術の向上が図られた。 ◎市内各スポーツ少年団、中学校の剣道部が参加し、大会をとおして、少年たちの交流を深める事ができた。 ▲河合町出身の有段者のみでなく市内出身の有段者を迎え、さらなる技術の向上に繋げ、市全体の行事として定着したい。 ▲市内の剣道人口が減少しているため、今後も事業を継続し、少年剣道人口の増加を期待したい。 ▲剣道アカデミー、剣道錬成会と共に参加者が年々減ってきているため、開催日を入れ替え、参加者の増加を促す。 〔 ～H21 6月 剣道アカデミー 10月 剣道錬成会 〕	B
		【目的】 河合町出身の有段者を迎え、剣道の基本を学ぶと共に、錬成会を通じて少年たちの交流を深める。				

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
心身の健康と体力づくりの推進	スポーツを通じた住民相互の交流・世代間交流	スポーツ フェスティバル の開催 【目的】 体育の日にちなんで、子供からお年寄りまでスポーツを通じた住民の交流や健康づくりを目的として開催。	生涯学習課	◇飛騨市古川町スポーツ フェスティバル2009（10/11） 会場：飛騨市森林公園一帯 内容：体力測定・軽スポーツ・ウォークラリーなど。 参加者約 2,000名 関係者約 200名 計 2,200名	【成果】 ◎参加費無料とし、誰でも気軽に楽しめる内容の催しのため好評であった。 ◎平成24年ぎふ清流国体「ラグビーフットボール」競技開催地として普及・振興を目的に体験コーナーを開催。広くPRする事ができた。 ◎飛騨市古川町体育・スポーツ関係団体からなる「実行委員会」組織にて開催し、一致団結の下イベントを成功させ、各種団体間の連携を図ることができた。 【課題】 ◎内容のマナー化に伴い来場者が減少しつつあるため、内容の検討・見直しが必要である。	B

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
総合型スポーツクラブ等の推進	体育関係団体等活動支援	飛騨市体育協会補助金	生涯学習課	①各種目において市民スポーツ大会の実施、飛騨地区大会、県民スポーツ大会における選手団派遣を実施。 ②理事会、総会を行い、各支部組織、本部組織の緊密な連携、意思統一を図った。 ③総会においてスポーツ功労者・普及に尽力された市民を称えた。 （平成21年度5名）	【成果】 ◎各支部組織との連携・情報交換を行ったことで体育協会事業が円滑に実施された。	B
		【基本目標】 「生涯スポーツの更なる推進」 【具体的目標】 ①すべての市民がスポーツに親しむ機会を拡充する ②更なる市民スポーツの振興を目指し、施設の整備と充実に努める。 ③顕彰事業 ④組織の充実			【課題】 ◎支部活動費の分配、各支部における協力金において格差が生じているため統一等の解決策が求められる。 ◎各種市民スポーツ大会は一部の愛好者だけが参加するのではなく、幅広く多くの市民が参加しスポーツに親しむ機会がもてるよう工夫が必要である。 ◎市民に分かりやすく親しみやすい体育協会となるよう広報活動が求められる。	

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
総合型地域スポーツクラブ等の推進	体育関係団体等活動支援	飛騨市スポーツ少年団補助金 リーダー、母集団、指導者の育成を行うとともに、各単位団の団員同士の交流を図る。	生涯学習課	・登録団数 27団 ・登録団員 約730名（小1～中3） ・各種目の大会にスポーツ少年団として参加 ・飛騨市スポーツ少年団の事業の他、飛騨地区の事業にも参加 ・団員交流事業（2月27日） 78名の団員が参加しレクリエーションを行った。 ・母集団、指導者育成事業（6月24日） 53名の育成者、指導者が参加しケガに対する処置について学んだ。 ・リーダー育成事業（8月6～7日） 85名の団員が参加し海王丸にて研修した。	【成果】 ◎団員交流やリーダー育成など団員対象の事業には例年多くの参加者があった。 ◎母集団研修は話ばかりでなく実技も行ったため、多くの参加者があった。 【課題】 ◎指導者がほとんど替わらないため高齢化している。若い指導者の発掘が必要。	B

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
心身の健康と体力づくりの推進	スポーツを通じた住民相互の交流・世代間交流	元旦マラソンの開催 【目的】 元旦の朝にマラソンをして、新春を健やかに迎えられた喜びと1年の健康づくりを誓う事を目的としている。	生涯学習課	◇第39回飛騨市ふるかわ 元旦マラソン 2010 (1/1) 会場：飛騨市古川町市街地 マラソンコース 内容：マラソンイベント。 ただし、タイム計測や順位付けはなし。 【参加者数】 Aコース 257人 Bコース 147人 Cコース 87人 計 491人 スタッフ 49人 総計 540名	◎ 開会式では、古川中学校駅伝部と中京高校で全国大会へ出場する浅岡、北野両名の紹介や「平成24年ぎふ清流国体」のPRを行い、スポーツ振興を図ることができた。 ◎大雪にも関わらず、多くの市民参加のなか、負傷者やトラブル無く無事、イベントを終了することができた。 ◎飛騨市古川町体育・スポーツ関係団体から成る「実行委員会」組織にて開催し、一致団結の下、イベントを成功させ、各種団体間の連携を図ることができた。 ▲旧古川町時代から続く伝統行事であるが他町で馴染みが薄く、参加者は古川町在住者が殆どであるため、広く市民参加を呼びかけ市内全域より参加が増える事が課題である。	A

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化芸術の推進	指定文化財保護事業の推進	文化財保護修理事業補助	文化振興室	① 国重要文化財 薬師堂屋根葺替え 4,539千円	(成果) 6件の文化財保存修理を行い、適切な状態となった。	A
		緊急性及び重要性を要する国、県及び市指定文化財の保護修理保存のために必要となる修繕経費等の一部を補助し、貴重な文化財を後世に残す。		② 県指定古川祭り屋台 神楽台組屋台 金色大鳳凰羽新調 1,181千円 ③ 補助対象外県指定数河獅子土蔵修復 5,775千円 ④ 市指定上人塚石垣改修工事 1,800千円 ⑤ 高田神社の神楽獅子 新調 327千円 ⑥ 黒内春日神社のトチノキ 800千円	(課題) 交付選定については文化財保護審議会において順番を確認した。	

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化芸術の推進	指定文化財保護事業の推進	文化財の保護、継承を図るため、文化財の保存等に必要と認める事業を行う団体又は個人に補助する	文化振興室	各保存会事業補助	(成果)	C
				古川祭保存会 300千円	指定文化財の適切な保存に努めることができた。	
				江馬遺跡保存会 21千円	(課題)	
				小萱薬師堂保存会 21千円	江馬遺跡保存会補助金については平成21年度を最終年度として、草刈り委託料のみ支払うこととなった。	

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成 2 1 年度の目標	担当課	平成 2 1 年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化芸術の推進	埋蔵文化財発掘調査事業の推進	増島城跡発掘調査事業	文化振興室	・増島城跡調査委員会を公開にて 1 回開催（9 月 1 日） （委員会構成） 島田敏男（古建築） 内田和伸（保存工学） 千田嘉博（中世城郭） 渡邊久郎（地元有識者） 杉下 豊（地元有識者） 市長（代理・副市長） ・現地公開 2 回 （5 月 23 日・6 月 28 日）。 （参加者 80 名） （事業費） 12,764 千円	（成果） 確認調査を行い、二之丸と東之丸をつなぐ土橋の石垣を発見した。調査成果をまとめた発掘調査報告書を発刊した。	A

様式第 2 号（第 4 条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市育委員会

重点 施策	重点 目標	平成 2 1 年度の目標	担当課	平成 2 1 年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化芸術の推進	埋蔵文化財発掘調査事業の推進	宮川町塩屋地区発掘調査事業	文化振興室	島遺跡・塩屋金清神社遺跡における、縄文時代中期の集落跡の調査成果をまとめた。 発掘調査報告書の図版作成、執筆を行った。 10 月 4 日には発掘調査速報展を実施し、50 名の参加を得た。 （事業費）22,160千円	（成果） 岐阜県古川土木事務所から委託を受け、飛騨市が実施した。昨年度の調査成果をまとめ、発掘調査報告書を執筆した。 （課題） 発掘調査報告書は平成22年度刊行の予定であり、発行部数等について県と調整中である。	B

様式第 2 号（第 4 条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成 2 1 年度の目標	担当課	平成 2 1 年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化芸術の推進	指定文化財整備事業の推進	史跡江馬氏城館跡保存整備事業	文化振興室	1 門前地区・工房地区の掘立柱建物跡・柵列跡・竪穴住居跡の表示工を行った。 2 事業の最終年度に当たるため、発掘調査報告書・整備工事報告書を執筆し、刊行した。 3 利活用に向けて、運営協議会準備会を立ち上げた （事業費） 24,235 千円	（成果） 遺構整備、学習施設整備などにより見学者にわかりやすい整備を進めることができた。また事業の成果を報告書として全国に発信することができた。 （課題） 利活用に必要な施設整備の検討と充実	A

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成 2 1 年度の目標	担当課	平成 2 1 年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化芸術の推進	文化施設管理運営事業の充実	施設改修工事等事業	文化振興室	① 高原郷土館の分電盤の老朽化に伴う更新 242千円	(成果) 文化施設を適切に修理した。	A
				② 江馬館主門防腐塗装(5年間隔実施) 1,134千円		

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化芸術の推進	文化交流施設管理事業の充実	文化交流センター・船津座自主企画事業補助	文化振興室	文化交流センター 自主企画事業 年間11件 共同開催事業 5件 事業費総額 28,278,615円 補助金 16,519,963円 入場料ほか 11,758,652円 船津座 自主企画事業 年間11件 事業費総額 15,865,451円 補助金 13,951,473円 入場料等 1,913,978円	(成果) 文化交流センターは、飛騨市の文化振興の核となる施設として幅広い年代へ質の高い文化を提供できた。また、鑑賞型事業だけでなく、市民参加型の事業も実施できた。 船津座は、地域密着、活性を担い、実行委員会による各種イベントを企画し、幅広い年齢層に気軽に参加してもらえる事業を実施した。 (課題) 収客数及び集客範囲などの理由から採算の合う事業の選択は難しい。今後は、2施設の連携により、イベント内容の再検討、より一層の効率化が必要である。	B

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成 2 1 年度の目標	担当課	平成 2 1 年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化芸術の推進	文化交流施設管理事業の充実	文化交流センター・船津座施設改修工事等事業	文化振興室	文化交流センター 排水改修事費 803,250円 大ホール舞台袖遮光幕設置工事費 919,800円 屋外掲示板新設及び機械室防鳥工事費 1,176,000円	(成果) 文化施設の拠点施設である 2 施設の整備を実施した。	A
				船津座 音響反射板設置 備品購入 628,320円	(課題) 年数が経過することによる修 繕費の増加	

様式第 2 号（第 4 条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成 2 1 年度の目標	担当課	平成 2 1 年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化芸術の推進	神岡町史編纂事業の推進	神岡町の貴重な歴史的資料を町史としてまとめて記録に残す。	文化振興室	神岡通史発行事業	（成果） 平成20年度事業で予定していた「神岡町史 通史編Ⅰ」を繰越事業として6月に発刊した。 （課題） 神岡町史の刊行計画の中では「写真編」と「史料目録」が残されており平成22年度事業となっているが、「史料目録」については、「写真編」の差金が出たら発刊することとして予算計上されていない。	B

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化・芸術の推進	地域文化の保存・伝承	飛騨市美術館企画展	文化振興室	飛騨市美術館の企画展として、5回開催 ○第1回飛越交流美術展 H21.3.17～H21.4.26 入館者数 453人（H21.4.1～） ○沖野清展 ○美術館新収蔵展 H21.5.1～H21.6.21 入館者数 1,231人 ○石川裕彫刻展 木詩集 H21.7.4～H21.8.30 入館者数 1,499人 ○井上あき子 はり絵展 H21.10.23～H21.11.29 入館者数 2,192人 ○中田聡一郎展 H22.3.20～H22.5.9 入館者数 260人（H22.3.31まで） 平成21年度企画展入館者数 5,635人 〈経費内訳〉 謝礼 10,000 費用弁償 382,704 消耗品費 178,483 食糧費 102,875 印刷製本費 346,210 運搬費 52,500 作業委託料 600,000 監視業務委託 855,750	（成果） 特別展示室での企画展だけでなく、全館を使用した魅力ある企画展を開催することにより、入館者数が増加した。	B
		文化発信拠点のひとつとして、飛騨市出身あるいはゆかりの作家を中心に常設展示及び企画展を開催し、美しいものにふれ感動する空間、親しみのある美術館運営を目指す。			（課題） 限られた人ばかりでなく、もっと多くの市民に美術館を身近に感じてもらえるよう、市民参加型の美術館として活用していく必要がある。	

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
ぎふ清流国体成功に向けての取り組み	ぎふ清流国体飛騨市実行委員会の設立と市民への周知	- ぎふ清流国体の準備を円滑に行い成功させるため、実行委員会を設立する。 - 国体開催を市民にPRし、ボランティアなどの積極的参加に対する意識の高揚を図る。 - 国体先催県の調査を実施し、飛騨市開催の参考とする。 - 競技運営に万全を期すため、競技役員編成、施設及び競技用具の整備計画を策定する。 - 飛騨市を全国に紹介、発信するため、国体開催市であることを全国にPRする	ぎふ清流国体準備室	○実行委員会設立総会を開催し、記念事業としてハンドボール日本代表監督の講演と実業団のデモを行った 期 日 7月15日 場 所 船津座 設立記念事業の実施 ○正午の音楽にミナモソングの採用やミナモダンス講習会、看板設置など国体をPRした。 国道41号沿いにPR看板 のぼり旗、横断幕、懸垂幕製作 ミナモソング、ミナモダンスのPR ミナモダンスリーダーの養成 23名 ○国体を広く市民に周知するため、市役所にカウントダウンタイマーを設置した。 カウントダウンセレモニーの実施 期 日 2月1日 ○各競技団体との連絡調整を行った。 ○新潟国体と千葉国体プレ大会の視察を行い、飛騨市開催の参考とした。 〔新潟国体〕 期 日 9月30日～10月2日 視察先 新潟市（サッカー） 柏崎市（ハンドボール） 新発田市（ラグビーフットボール） 〔千葉国体サッカーリハーサル大会〕 期 日 10月16日～10月17日 視察先 市原市（サッカー） 〔新潟国体事業概要説明会〕 期 日 12月17日～12月19日 視察先 新潟市、柏崎市、新発田市	◇準備委員会から実行委員会に改組し体制が整った。今後は、常任委員会や専門委員会を開催し、各分野ごとに綿密な計画を樹立しなければならない。 ◇年間を通じて市民の皆さんに「ぎふ清流国体」のPRを行い、国体開催に向けての意識付けができた。今後、全国にも紹介できるよう広報活動に取り組む必要がある。 ◇市内すべての保育園でミナモダンスに取り組み、イベント等でのダンス披露を通じて国体のPRができた。今後は、小中学校での取り組みが必要である。 ◇「ぎふ清流国体」の名称とミナモは市民に浸透してきた感があるが、競技内容や会場、市民参加への周知が徹底できていない状況にある。 ◇国体開催に向けて、競技共催市町との連絡調整を進めてきたが、今後、共通経費の負担金割合等の調整を行う必要がある。 ◇平成23年のリハーサル大会開催に向け、具体的な施設準備や経費の算定を進める必要がある。 ◇市内に競技者がいないハンドボール、ラグビーフットボールの競技補助員の確保についての検討が必要である。 ◇本大会、リハーサル大会の視察により飛騨市開催の参考とすることができた。また、新潟国体事業概要説明会においては、視察時には分からなかった関係者の苦労話を聞くことができ、大いに参考になった。	A

様式第3号（第4条関係）

前年度点検評価結果への対応状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

前年度の点検評価において課題とされた事項	前年度 の評価	課題に対する平成21年度の取り組み状況		
		実 績	成 果 ・ 課 題	評価
課 題 古川小学校改築事業（設計委託） ・ワークショップによる手法を導入した事により、基本設計に不測の日数を要し、実施設計の年度内完了が出来なかった。	C	・実施設計が完了	・実施設計が完了し、工事着工出来た。	A
神岡中学校北舎改築工事 ・近隣住民の要望により建築位置の変更をしたことや、建築確認に不測の日数を要したため、工事着工が出来なかった。	D	・工事が完了	・工事着工し、年度内に竣工することが出来た。	A
河合中学校体育館底防水工事 ・予定した箇所の工事は終了したが、工事箇所とは別の壁面からの浸水が確認されたことにより今後対処する必要がある。	C	・なし	・平成23年度に体育館の大規模改造工事を実施する際に併せて施工することとした。	—

注：「前年度の点検評価において課題とされた事項」の欄は、前年度の報告書に記載された課題を転記すること。

様式第 3 号（第 4 条関係）

前年度点検評価結果への対応状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

前年度の点検評価において課題とされた事項	前年度 の評価	課題に対する平成 2 1 年度の取り組み状況		
		実 績	成 果 ・ 課 題	評価
課 題 小学校 1 年生全員に G P S 携帯端末の貸与 ・貸与数を見ると、H19年（260台）、H20年（108台）と年々希望者が減少している。また、緊急時使用実績も 2 年間全くない。 ・地域性や登下校時の見守り隊など他の安全対策が講じられていることから、必要感が感じられない。 ・ G P S の精度としては 0 ～ 2 0 0 m までの誤差があり、正確な位置が特定しづらい。 ・バッテリー充電や管理等で学校の負担が大きい。	D	事業の見直しにより 平成 2 1 年度より廃止		—

注：「前年度の点検評価において課題とされた事項」の欄は、前年度の報告書に記載された課題を転記すること。

様式第3号（第4条関係）

前年度点検評価結果への対応状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

前年度の点検評価において課題とされた事項	前年度 の評価	課題に対する平成21年度の取り組み状況		
		実 績	成 果 ・ 課 題	評価
課 題 飛騨市の財産（たから）体感事業 ※スーパーカミオカンデの施設見学及び現地説明の体験 ・ 1回に入坑できる人数が50名のため、大規模校においては、現地までの往復が必要となり複数日にまたがることで、授業時数の確保が困難である。 ・ また、小規模校においても、現地までの往復等で半日かかるため、授業時数の確保が困難である。 ・ 夏休み時期に開催される「G S A」による同様な体験プログラムが予定されており、スーパーカミオカンデの施設見学や現地説明を希望する中学生は、参加することができる。	D	事業の見直しにより 平成21年度より廃止		—

注：「前年度の点検評価において課題とされた事項」の欄は、前年度の報告書に記載された課題を転記すること。

様式第 3 号（第 4 条関係）

前年度点検評価結果への対応状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

前年度の点検評価において課題とされた事項	前年度 の評価	課題に対する平成 2 1 年度の取り組み状況		
		実 績	成 果 ・ 課 題	評価
課 題 子育て支援公開アカデミー事業 ・ 著名人を講師とすることで集客は見込め多くの親に参加してもらえるが、講師見たさで参加する市民も多く、真に子育てに悩む親のため担っているのか疑問である。 開催回数・講演内容の見直し、教育相談所や各学校にある家庭教育学級等の充実を含め検討する必要がある。	C	前年の反省をもとに検討した結果、講演のみであること、および子育てに悩む親についての支援は市民児童課で実施することとなり事業廃止		—

注：「前年度の点検評価において課題とされた事項」の欄は、前年度の報告書に記載された課題を転記すること。

様式第 3 号（第 4 条関係）

前年度点検評価結果への対応状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

前年度の点検評価において課題とされた事項	前年度 の評価	課題に対する平成 2 1 年度の取り組み状況		
		実 績	成 果 ・ 課 題	評価
課 題 放課後子どもプラン（子ども教室） ・保護者が子どもを預けて面倒を見ないという家庭教育の放棄につながりかねない。 ・総合型スポーツクラブやスポーツ少年団など他団体の活動と重複してしまっている。 ・当事業に協力してくださる地域の人の協力が必要	C	事業の見直しにより 平成 2 1 年度より廃止		—

注：「前年度の点検評価において課題とされた事項」の欄は、前年度の報告書に記載された課題を転記すること。

前年度の点検評価において課題とされた事項	前年度 の評価	課題に対する平成21年度の取り組み状況		
		実 績	成 果 ・ 課 題	評価
「史跡江馬氏城館跡公園」の利活用の促進 利活用状況 (1) 全入館者 2,580人 (2) 有料 1,712人 入館料収入 322,940円 (3) 無料 868人 ア 小中学校等学習利用 イ イベント利用 夜間無料公開（お月見会）三日間開催 約440名入館 ウ 行政視察 8件 112名 課 題 (1)(2)有料入館者の増加のためのアピール活動・ハード（看板等）整備 (3)、ア 学習施設の利活用の促進（学校・市民団体との連携による歴史学習の場としての利活用） イ 市民主体による利活用促進の働きかけ、組織づくり（仮称：運営協議会の設立）	C	(1) 全入館者 1,711人 (2) 有料 1,331人 (3) 無料 380人 課題に対する対応 ・平成21年度で整備工事を完了し、その中で看板等のハード整備が完了した。 ・運営協議会準備会を立ち上げた。	運営協議会準備会を立ち上げた。 今後は入館者数を増やすこと、またそれにより神岡が少しでも潤うことを目指す。	A

注：「前年度の点検評価において課題とされた事項」の欄は、前年度の報告書に記載された課題を転記すること。

様式第 3 号（第 4 条関係）

前年度点検評価結果への対応状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

前年度の点検評価において課題とされた事項	前年度 の評価	課題に対する平成 21 年度の取り組み状況		
		実 績	成 果 ・ 課 題	評価
文化財保存修理事業 国指定 1 件、県指定 3 件、市指定 1 件 合計 5 件の文化財保存修理に補助金を交付し修理を行った。 課 題 交付選定のルールを明確にする必要がある。	C	文化財保護審議会で緊急度の高いものを決定する中で文化財修復を行った。	国指定 1 件、県指定 3 件、市指定 1 件の保存修理に補助金を交付し修理を行った。	A

注：「前年度の点検評価において課題とされた事項」の欄は、前年度の報告書に記載された課題を転記すること。